

別記第1号様式(第7関係)

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		豊島区自殺対策計画推進会議
事務局（担当課）		池袋保健所 保健予防課
開催日時		令和6年1月31日（水） 午後2時～3時
開催場所		池袋保健所1階講堂
議 題		<p>(1) セーフコミュニティ自殺・うつ病の予防対策委員会の活動報告</p> <p>(2) 自殺対策計画の健康プランへの抱合について</p> <p>(3) 豊島区の自殺の状況</p> <p>(4) 各事業の進捗状況報告</p> <p>(5) その他 連絡事項</p>
公開の 可否	会 議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 傍聴人数 人
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会 議 録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委 員	保健福祉部長（委員長）、池袋保健所長（副委員長）、健康担当部長、区民部長、セーフコミュニティ推進室長、区民相談課長、人材育成担当課長、治安対策担当課長、税務課収納推進担当課長、高齢者医療年金課長、高齢者福祉課長、障害福祉課長、生活福祉課長、西部生活福祉課長、介護保険課長、保健予防課長、健康推進課長、長崎健康相談所長、子育て支援課長、子ども家庭支援センター所長、指導課長（代理）
	事務局	保健予防課精神保健グループ

審 議 経 過

No. 1

1 開会

2 委員長挨拶

3 議事

(1) セーフコミュニティ自殺・うつ病の予防対策委員会の活動報告

資料3について池袋保健所から説明

(2) 自殺対策計画の健康プランへの抱合について

資料4について保健予防課から説明

・新しく計画に追加されている「心のサポーター養成」について、来年度の取組は何か考えているか。区職員向けに実施する予定はあるか。

→(事務局)保健予防課では現在、精神保健福祉講演会を年3回、ゲートキーパー講座を年数回実施しているが、来年度は精神保健福祉講演会の枠を心のサポーター養成の講演会に置き換えて実施を考えている。まずは区民対象とし、次の段階を考えていきたい。

・「心のサポーターは養成研修の受講が必要」と記載があるが、講演会で良いのか。

→(事務局)養成研修は「摂食障害」や「こころの病気」等のプログラムの中から自治体が内容を選ぶ選択研修+傾聴技術を学ぶ共通研修の2本立てになっている。選択研修の内容が現在の精神保健福祉講演会と重なるため、講演会に置き換えて実施する予定。

(3) 豊島区の自殺の状況について

資料5について事務局より説明

・地域自殺実態プロファイルの「豊島区・主な自殺者の特徴」2・3・4位に独居の男性が入っているが、東京都でも同様か。

→(事務局)東京都は1位「男性40～59歳有職同居」2位「男性60歳以上無職同居」3位「男性60歳以上無職独居」と続く。1～5位のうち独居は3位のみ。豊島区よりも高齢層が上位になっている。

・地域自殺実態プロファイルについて、40歳代男性の自殺死亡率が前年に比べ上昇幅が大きかったということだが、豊島区に推奨される重点パッケージの中に「生活困窮者」が入ったことと関係があるか。自殺の動機まで分かるのか。

→(事務局)年代別の自殺動機は公表されていない。資料4の11ページに生活状況別の「背景にある主な自殺の危機経路」を掲載している。この危機経路は一例であるが、重

点パッケージはその年の「主な自殺者の特徴」と「自殺の危機経路」を参考に選定される。

(3) 各事業の進捗状況報告

資料6について各課より報告

- ① 基本施策 1-4 児童虐待の防止対策委員会について、子ども家庭支援センターより報告
- ② 重点施策 1-12 「豊かな人間性」育成事業について、指導課より報告
- ③ 重点施策 3-7 ひとり親家庭等の子どもに対する学習支援事業について、子育て支援課より報告
- ④ 重点施策 3-4 被保護者自立支援事業について、生活福祉課より報告
- ⑤ 重点施策 3-5 生活支援型滞納整理について、税務課より報告
- ⑥ 重点施策 5-1 精神保健に係る相談事業について、健康推進課より報告
- ⑦ 重点施策 5-2 精神保健に係る地区活動について、長崎健康相談所より報告

・進捗確認シートの「達成度」とはどのように設定しているのか。目標値があるのか。
→ (事務局) 進捗確認シートはいのち支える自殺対策推進センターが作成している進捗確認シートの雛形を使用し、「達成度」は達成した→100%、ほぼ達成した→80%、半分程度達成した→50%と設定されている。事業ごとに各課に評価していただいている。

・進捗確認シートはどのように活用されるのか。
→ (事務局) これまで区に対するフィードバックはなく、公表もされていない。計画に基づいて毎年PDCAサイクルを回す目的として活用している。

(5) その他連絡事項

- ・推進会議は今後も年1回の開催を予定。

提出された資料等	資料1 豊島区自殺対策計画推進会議設置要綱 資料2 委員名簿 資料3 セーフコミュニティ再認証申請書(「自殺・うつ病の予防対策委員会」部分抜粋) 資料4 健康プラン(素案)(「こころの健康」部分抜粋) 資料5 豊島区の自殺の状況 資料6 自殺対策計画進捗確認シート 参考資料 豊島区自殺対策計画(2019~2023)冊子
----------	--